

令和4年度成田市7月補正予算説明資料

一般会計の補正予算額は932,935千円の増額で、補正後の予算額は63,533,673千円となります。

コロナ禍における原油価格・物価高騰に直面する市民や事業者の負担軽減対策として、学生などの若年層や高齢者の生活を支援するため、市内の協賛店で利用できる商品券を交付するための経費や、売上が減少して国の事業復活支援金を受けた事業者に対し、市が独自で上乘せ給付を行うことに要する経費などを計上します。

また、一般家庭や事業者の負担を軽減するため、市が徴収する下水道使用料、農業集落排水使用料、し尿くみ取り手数料を減免するための補正を行います。

1. 補正予算額（一般会計）

932,935 千円 （補正後予算額 63,533,673 千円）

【歳入】

使用料及び手数料	△1,214 千円
（し尿くみ取り手数料の減）	
国庫支出金	234,329 千円
（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増）	
繰越金	699,820 千円

【歳出】

総務費	100,607 千円
民生費	375,612 千円
農林水産業費	36,409 千円
商工費	181,200 千円
土木費	237,680 千円
教育費	1,427 千円

2. 主な歳入補正（一般会計）

○使用料及び手数料 △1,214 千円

・し尿くみ取り手数料

今般の原油価格・物価高騰等に直面する市民に対し、2カ月分のし尿のくみ取り手数料を全額減免します。

令和4年度成田市7月補正予算説明資料

○国庫支出金 234,329 千円

・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

国から原油価格・物価高騰対応等のために交付される新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について補正事業の財源として計上します。

3. 補正事業（一般会計）

○路線バス運行支援事業 17,067 千円

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、燃料費等の高騰の影響を受けているバス事業者の負担を軽減するため、当該事業者を対象に補助金を交付します。

○若者・学生支援商品券交付事業 83,540 千円

原油価格や電気・ガス料金を含む物価の高騰の影響を受けている市内在住の学生をはじめとした若者世代の負担軽減を図るとともに、地域における消費喚起に資するため、市内の商店等で利用可能な商品券を1人当たり1万円分交付します。

○高齢者支援商品券交付事業 368,285 千円

原油価格や電気・ガス料金などの物価高騰が日常生活に影響を与える中で、令和4年度の年金額が前年度と比較し減額となっていることから、高齢者の負担軽減を図るとともに、地域における消費喚起に資するため、市内の商店等で利用可能な商品券を1人当たり1万円分交付します。

○特定教育・保育施設等物価高騰対策に要する経費 8,754 千円

食材費などの物価が高騰する中で、市内に設置された私立保育園、認定こども園、家庭的保育事業所、小規模保育事業所、事業所内保育事業所、私立幼稚園及び認可外保育施設の設置者に対し、補助金を交付することにより、これまでどおりの栄養バランスや量を保った給食の実施を促すとともに、保護者の負担軽減が行われるよう必要な支援を行います。

○畜産振興事業 30,660 千円

穀物の需要増加や海上輸送の混乱等による輸入飼料の価格高騰により、経営に深刻な影響を受けている畜産農家の経営危機からの脱却を支援するため、輸入飼料の価格高騰分の一部を補助します。

○農業集落排水事業特別会計繰出金 5,749 千円

今般の原油価格・物価高騰に直面し、負担が増している生活者等を幅広く支援するため、2カ月分の農業集落排水使用料を全額減免します。これにより、農業集落排水事業特別会計が歳入減となる金額について、一般会計が負担します。

令和4年度成田市7月補正予算説明資料

○中小企業等緊急支援事業 181,200 千円

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、燃料費等の高騰の影響を受けている市内事業者の事業の継続・回復を応援するため、国の事業復活支援金を受けた事業者に対し、中小企業等20万円、個人事業者等10万円の支援金を上乗せで給付します。

○下水道事業会計負担金 237,680 千円

今般の原油価格・物価高騰に直面し、負担が増している生活者や事業者を幅広く支援するため、2カ月分の下水道使用料を全額減免します。これにより、下水道事業会計が歳入減等となる金額について、一般会計が負担します。

4. 特別会計等補正予算額

・ 農業集落排水事業特別会計	(歳入のみ補正)	0 千円
・ 下水道事業会計	(収益的支出)	17,680 千円